★第21回 福祉作文コンクールを実施します

予告

城陽市社会福祉協議会では、城陽市内に住む小学５・６年生と中学生の皆さんに福祉について考えてもらい、関心や理解を深めてもらうことを目的に「児童・生徒の福祉作文コンクール」を実施しており、今年度で２１回目を迎えます。

毎年、推薦作品の中から最優秀作品と優秀作品が選ばれ、最優秀作品については、令和９年２月２０日（土）に城陽市立福祉センターホールにて開催予定の第４８回城陽市社会福祉大会にて登壇で発表していただく予定です。

福祉作文募集します!!

主題：日常生活や体験学習を通じてハンディキャップがある人たちとのふれあいや、ボランティア活動の体験などで感じたこと、これからの福祉のまちづくりについての考え方などについて、自分で主題をつけてください。

４００字詰め原稿用紙４枚以内（１人１点、未発表のもの。表紙に主題・学年・氏名を記入。）

対象：小学生の部・・・城陽市内在住の小学生５・６年生
中学生の部・・・城陽市内在住の中学生

提出期間：令和８年９月２５日（金）

提出場所：城陽市内の小・中学校に通う児童・生徒は各学校へ、
城陽市外の小・中学校に通う児童・生徒は城陽市社協までご提出ください。

お問い合わせ先：城陽市社会福祉協議会（住所：京都府城陽市寺田東ノ口 17）
TEL：0774-56-0909　FAX:0774-56-2800

公式 LINE

友だち募集中

LINE 公式アカウントで、イベントや行事などの情報を発信しています。ぜひ、友だち追加よろしくお願いします！

令和８年７月号発行
ボランティアだより

―発行―
社会福祉法人城陽市社会福祉協議会
京都府城陽市寺田東ノ口17
TEL（0774）56−0909
FAX（0774）56−2800

★ちょい・サポ研修会・情報交換会

予告

日時：令和８年８月９日（日）１０時～１２時

お申し込みはこちら！
令和8年7月31日（金）まで

場所：城陽市立福祉センター１階ホール

講師：城陽市　環境課　衛生センター館長　谷口　浩一氏

参加対象者：ちょい・サポ協力会員の活動に興味のある方

入場無料　　要参加申込

①：家庭ごみの出し方・分け方　②：ちょい・サポ活動実績報告　③：情報・意見交流会

生活上の困りごと解決に向け活動する協力会員の知識やモチベーションの向上を図るとともに、活動を行う上で抱える悩みややりがいを共有し、今後の活動につなげることを目的とし、研修・情報交換会を開催いたします。

「ちょい・サポ」は、日常生活にちょっとした困りごとがあり、公的な福祉サービスでは解決できない“すきま（間）”を、地域の住民の方々の協力を得て解決する、住民同士の支えあいによる有償ボランティア事業です。あなたも「ちょい・サポ」の利用・協力してみませんか？「気になる」「やってみようかな」「利用してみようかな」と思っていただいた方は、ぜひ市社協までお問い合わせください♪利用会員：40名・協力会員：51名・サポート会員：1名〈令和8年5月末時点〉

会員募集中!!☆

〈お問い合わせ先〉
城陽市社会福祉協議会（住所：京都府城陽市寺田東ノ口17）
TEL：0774−56−0909
FAX:0774−56−2800
Mail：kanou@jyoshakyo.or.jp

★城陽市災害ボランティアセンター研修会・訓練を開催しました

令和８年３月７日（土）災害時に災害ボランティアの拠点となる木津川運動公園にて、４０人余りの参加のもと城陽市災害ボランティア推進協議会研修会及び訓練を開催しました。

研修会では、城陽市危機・防災対策課　市瀬氏より、近年の災害と城陽市の災害リスクについての講義と、京都府健康福祉部地域福祉推進課　森本氏より、京都 DWAT（京都府災害派遣福祉チーム）について説明いただきました。

研修後は、実際に水害被害が起きた想定で、災害ボランティアセンタースタッフ役、ボランティア役、被災者役に分かれ、災害ボランティアセンター設置運用訓練を実施。実際に訓練を行う中で出た課題などを共有し、最後に城陽市危機管理監　下岡氏及び京都府災害ボランティアセンター藤原氏より講評をいただきました。

災害はいつ、何が起こるか予測できません。平常時の備えや災害ボランティアセンターの市民への周知の必要性を改めて実感する機会となりました。

―当日の様子―

★災害ボランティアセンターとは

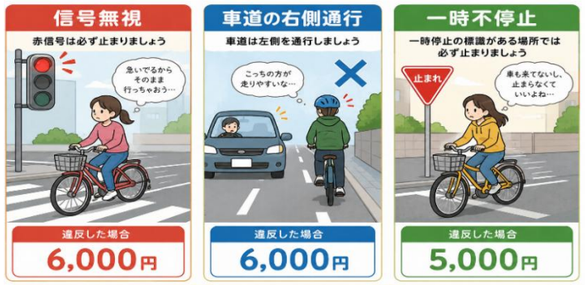
災害ボランティアセンターは、被災した地域に対してボランティアの協力を得て、地域の復興につなげていくことを目的とした拠点となるセンターです。城陽市は、平常時から設置している「常設型」として社会福祉協議会を事務局として運営されており、実際に災害が起きた時、効率的な運用ができるよう関係機関と定期的に訓練を行っています。

★ボランティア連絡協議会「春の講習会」

令和８年５月２０日（水）城陽ボランティア連絡協議会主催の春の講習会が開催されました。

城陽警察署　田中氏より、自転車等の交通ルールについて説明いただきました。

講話では、令和８年４月から導入された自転車の青切符制度について、その背景や目的について説明がありました。また、城陽市内の自転車事故の現状や事故が発生しやすい場面、自転車利用者が加害者となり、高額な損害賠償責任を負うケースも紹介されました。自転車は法律上では「車両」にあたるため、交通ルールを正しく理解し、歩行者への配慮を持って利用することの重要性について学ぶ機会となりました。



★城陽手話サークルてまりの定例会にて災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲームを実施しました

令和８年４月２日（木）・１６日（木）城陽手話サークルてまりの定例会にて「災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲーム※」を実施しました。

５・６人ずつグループに分かれ、コーディネーター役、進行役、タイムキーパー役、書記役をそれぞれ配分しゲームを実施。被災者からのニーズと集まる多様なボランティアをマッチングし、班ごとに出た意見や話し合いで出た内容を発表し、皆さんで共有しました。

参加者の声

・性別や年齢に限らず、ボランティアの必要人数や各個人の得意なことを見極めて配員することの難しさを学ぶことができた。
・実際に経験するかもしれない状況を、ゲームを通してグループで考えることができ、様々な考えに触れる機会になり貴重な経験となった。
・高齢者や障がいのある方が登場していなかったため、そのようなケースも入れ込むと災害時の備えになると思う。

興味がある方は
市社協まで!!

※災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲームとは

①被災者中心 ②地元中心 ③協働 の三原則に基づいて行う、体験・参加型のシミュレーションカードゲームです。被災者の困りごととボランティアのマッチングをカードによるシミュレーションを通じて、被災時に必要な災害時に必要な知識や判断能力、考え方を学ぶことができます。